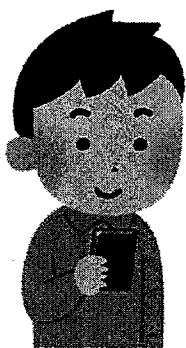
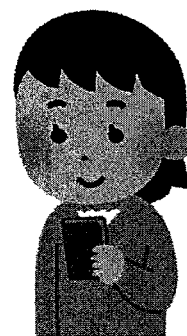


## インターネットトラブル 事例内容



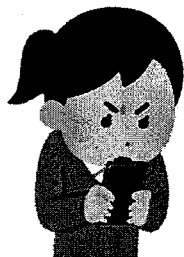
スマートフォンやインターネットが  
どんなに便利になっても  
そこに潜む危険はなくなりません。  
ネットを安全に使う力を育むために  
実際にあったトラブルを知り  
子供といっしょに考えてみましょう。



# 1 スマホの過度な使用による日常生活への支障

友人とのトークが連日深夜まで続き

遅刻や居眠りをするようになってしまった



寝る時間だけど、  
あと少しだけ。



無料通話アプリで友人とメッセージ交換(トーク)をするのが大好きなAさん。終わらせるタイミングがわからず、夜遅くまでスマホを使う毎日でした。

朝起きるのがつらくなり、眠たくて授業にも集中できなくなりました。体調や成績にも影響が出ているのですが、友人とのトークはやめられません。

## 考えてみよう!

友人関係が何より大切な時期ですが、生活習慣の乱れや睡眠不足は、健康や学習などにいろんな影響がでてきます。適切な利用のためにできる工夫はありませんか？

### A. 睡眠について調べてみる

体の成長を促すだけでなく、体調を整えたり、疲労回復をしてくれる「成長ホルモン」。睡眠との関係を調べてみると子供たちが自ら気付くことがあるかもしれません。

### B. ルールを作ってみる

トークを終わらせるのが難しいというのは、多くの子供の悩み。終わりの言葉を決める、〇時までと決めるなど、自分たちで話し合ってルールをつくると、コントロールしやすいようです。

### C. 時間の使い方を見直してみる

宿題、食事、入浴 etc...帰宅後はやることだらけ。習い事や塾もバラバラで遅い時間しか揃わない。だったらその日は早く寝て、翌朝“早起きトーク”をするというのはどうでしょう。

## 解説

### 四六時中、気付くとスマホを手に入れている

無料通話アプリやSNS、ゲーム、動画など、楽しく魅力的なことがいろいろできるスマホですが、使い過ぎには要注意。勉強や食事をしていてもスマホが気になる、歩行中もスマホから目が離せない、そんな依存傾向のある子供が増えています。自分をコントロールできずスマホを長時間使うようになれば、勉強に充てる時間が減るだけでなく、健康面でもマイナスです。適切な使い方ができるよう、利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するよう心掛けましょう。利用時間を制限するアプリを利用することも一つの方法です。

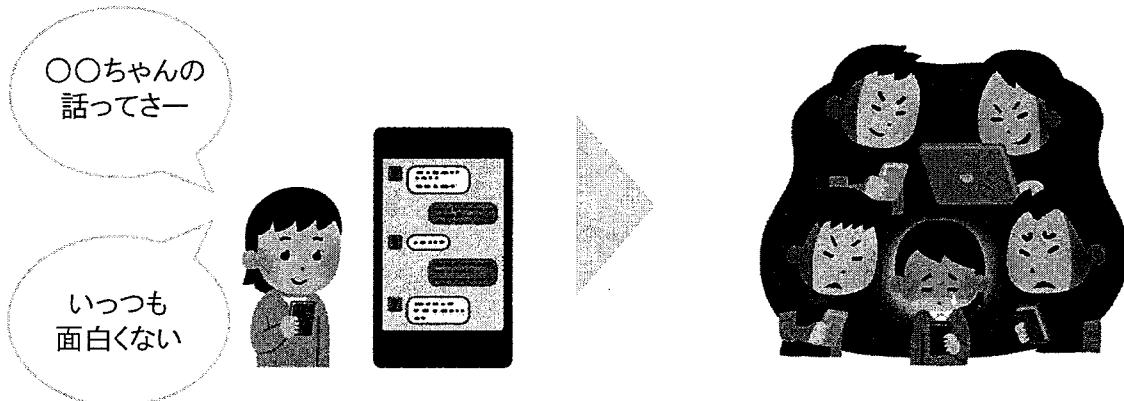
## ワンポイント アドバイス

学校行事や受験など「イザ!」というときに実力を発揮できなかったり体調を崩したりして後悔しないよう、自制する力を育てましょう。

## 2 無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ

うっかり「？」をつけ忘れたために

一方的にグループから外されてしまった



クラスの仲よし数人でやっているグループトーク。Bさんは、書き込みの最後に「？」をつけ忘れたまま、スマホを置いてお風呂に入ってしまった。

お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などの書き込みが。誤解を解こうとしても、反応なし。Bさん以外のメンバーは別グループを作り、Bさんを外したのです。

### 考えてみよう！

会話の流れが速いために、ちょっとしたことで誤解や感情の行き違いが生じやすいグループトーク。いじめやトラブルが起きないために、できることはありますか？

#### A. 文字だけの会話だから

「？」と「！」では意味が真逆になることもある文字の会話。こういった記号、スタンプ、(^\_^)のような顔文字などを巧みに使って、みんなに正しく伝わるようにすることが大切です。

#### B. 早くて複雑な会話だから

グループトークはテンポが速く、複数の会話が並行して飛び交います。途中参加をすると、流れをつかむのは至難の業。でも、曖昧な状態での会話はトラブルの火種になるのです。

#### C. ムカツ！イラッ！としたら

どんな会話でも、嫌な気持ちになることはあります。そんなときは感情をすぐにぶつけず、一呼吸して考えて。文字だとケンカになりそうなら、電話で話してみるのも良い方法です。

### 解説

## グループトークに起因するトラブルも、パターンはさまざま

無料通話アプリのグループトークで生じる“いじめ”や“仲間外れ”は、地域を問わず課題となっています。特定の子に対し、その子の発言だけ無視する、その子にとって不快な写真や動画をグループで共有する、その子以外とグループを作り悪口を言う、その子をグループから突然外すなどがあり、何気ない出来事からいじめに発展することも少なくありません。メンバーでなければ会話の内容を読むことができないため、**トラブルの発見が遅れがち**。日々の様子や会話から子供の変化に気付くこと、これが早期発見や解決につながります。

### ワンポイント アドバイス

周囲と違う意見が言いづらい雰囲気(同調圧力)が、いじめに発展するケースも。「空気を読む」ことの功罪を考え、思いやりの心を育てましょう。

これくらいなら平気だろうと……

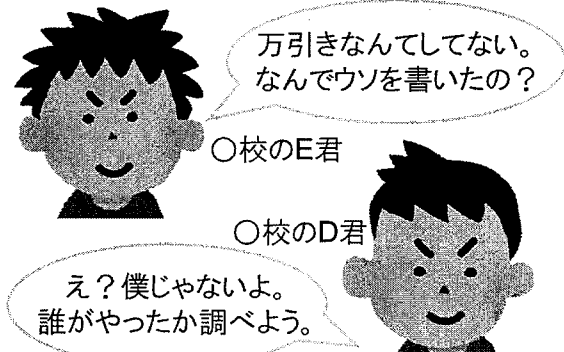
### ③ なりすまし投稿による誹謗中傷

他人になりすまして書き込んで



△校のC君は、○校のD君がどうにも気に入らず、**D君になりすまし、ネットに「○校のE君が万引きをしている」と、ウソの書き込み**をしました。

書き込んだ本人が特定された



E君がD君を問い詰めると、D君は書き込んでいないことが分かりました。調べると、△校のC君の仕業だと判明。**学校間トラブル**に発展しました。

#### 考えてみよう！

誰かになりすますことも、誰かを陥れるような書き込みをすることも、違反行為です。万が一、こういったトラブルに気づいたとき、できることはありますか？

#### A. やるといふ子がいたら

やって得になることは、何一つありません。また、ネットだからバレないということもありません。その子の怒りの気持ちを受け止めてあげつつ、やめるように優しく諭すのがベストです。

#### B. 被害に遭った子がいたら

E君のように直接確認してみる方法もありますが、聞きづらい場合も。先生や保護者に相談し、必要に応じて削除依頼をしてもらいましょう。C君にやり返すようなことは絶対NGです。

#### C. こんな投稿を見かけたら

SNSに知り合いの誹謗中傷を見かけたら、まずは当事者に知らせます。内容をうのみにし、あるいは面白がって、大騒ぎしてはダメ。SNSの通報ボタンを押すことも有効に働きます。

#### 解説

### 迷惑行為や誹謗中傷は、利用規約で禁止されている

多くのSNSは、利用規約の中で迷惑行為や誹謗中傷を禁止しています。登録時に同意したルールですから、守って使うように指導してください。また、**他人になりすます行為**は発言の責任をなすり付けることになるため、それによって**相手が傷付いたり、信用を失ったりした場合、名誉毀損で訴えられる可能性**もあります。「ネットなら誰が書いたかわからない」と勘違いしている子もいますが、警察が動くようなケースだけでなく、ネット上のさまざまな情報により**書き込んだ本人が特定**できる場合があることを正しく理解させましょう。

#### ワンポイント アドバイス

リアルでもネットでも、やってはいけない行為は一緒。都合が悪い人や情報を排除するのではなく、上手なやり過ごし方を教えましょう。

これくらいなら平気だろうと……

## 4 個人や学校などへの脅迫行為

嫌がらせを呼び掛ける投稿をして



投稿者が特定され、地域にも多大な迷惑



嫌がらせのつもりで、日時・場所を指定し、「友人Fを暴行しよう」とネットの掲示板で呼びかけたG君。でも、**実行するつもりはまったくありませんでした。**

投稿を読んだ人が警察に通報し、警察は指定日時とその場所やF君の自宅付近をパトロール。G君の投稿であることが判明し、警察が自宅に……。

考えてみよう！

ネットでうっぶんを晴らそうとする人や、極端な投稿で注目されようとする人がいます。でも、脅迫や犯行予告とみなされれば犯罪となり、投稿者が逮捕されるケースもあります。

### A. 通報により警察が動く

掲示板運営者や投稿を見た人からの通報で、警察が動き出します。警備・警戒だけではなく、投稿者特定も行います。「冗談のつもりだったのに」などの言い訳は通用しないのです。

### B. 騒ぎが大きくなると

指定場所があると、周辺地域への迷惑は避けられません。公共機関なら警察の動員も増え、お店があれば営業妨害にも。一言の影響を知ることも抑止効果につながります。

### C. こんな投稿を見かけたら

ターゲットが学校なら先生に、友人なら当人に、まずは一報。そして、警察ではなく掲示板の運営側に通報します。通報ボタンがあれば押す等、巻き込まれずに知らせる方法を！

解説

## ネットやSNSなどへの書き込み、軽く考えないように

単なる脅しや悪ふざけで実行する気はなかったとしても、**脅迫めいた書き込みは、犯罪となるおそれがあります。**また、学校や駅などで事件を起こすといった、地域社会に大きな不安を与える書き込みも同様に犯罪となります。**軽い気持ちで書き込むと、相手を深く傷付けるだけでなく、投稿者自身の傷にもなるのです。**安易に考えがちなネットの匿名性ですが、基本的には、いつどこから書き込まれたのか調査でき、個人を特定できます。善悪の判断ができない心理状態ならネットから離れる、これが一番の安全策です。

ワンポイント  
アドバイス

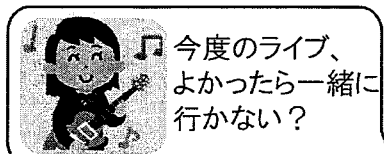
**犯罪行為には警察が動くため、悪ふざけではすまされません。未成年でも発信責任は問われます。年齢に応じた内容で考えさせましょう。**

そんなつもりじゃなかったのに……

## 5 SNSやネットで知り合った人による性犯罪被害

SNSでは趣味が合う良い人だったのに

実際に会うと怖い人だった



この子、すごく話が合うし SNSでみんなに好かれてるし ヤッター！嬉しい！



Hさんは、同じバンドのファンの女子高生とSNSでよく話をしていました。ある時「ライブのチケットが余分にあるから一緒に行こう！」と誘われました。

ライブ当日、待ち合わせ場所に行ってみると、SNSの写真とはまったく違う男の人で、チケットの話もウソ。無理やり車に乗せられそうになりました。

考えてみよう！

ネットを介し、同じ趣味や、有名人・キャラクターのファンと知り合うことも多い時代。でも、それがきっかけでトラブルや犯罪に巻き込まれることも。何故だと思いませんか？

A. 年齢、性別、写真のウソ

ネットにはウソの投稿があると知っているのに、ネットだけの知り合いを疑わない。これは、身近な友人ともネットで会話するようになってしまったことが大きな要因と考えられます。

B. 話が合う≠信用できる

趣味が同じでも、楽しい会話がはずんでも、良い人とは限りません。だますなら、同じ趣味を装い、話を合わせるくらいは当たり前。これに気づかせてあげることも重要です。

C. 一人で行くことの危険

「写真どおりの人だ」と思っても背後に悪い人がいて、被害にあうケースもあります。ネットだけの交流に留めておくのが最も安全ですが、それ以外の方法も話し合ってみましょう。

解説

SNSやネットで知り合った人は、想像とは全然違うことも

「同じ趣味や話が合う人に悪い人はいない」と考え、会ってみたいと思う青少年が増えています。しかし、相手が本当のことを言っているとは限らず、実際に会って事件やトラブルに巻き込まれるケースは年々増えています。また、彼氏・彼女にあこがれる年齢になると、「読者モデルをしているイケメン」や「可愛くて好みのタイプ」のような相手だと、想像がどんどん膨らみ、疑う気持ちを持てなくなってしまう可能性も。思春期の複雑な気持ちを理解した上で、取り返しがつかないことにならないための行動を促しましょう。

※P5『データで考える！インターネットトラブルの現状と傾向』もご参照ください。

ワンポイント  
アドバイス

リアルな生活だけでは出会えなかった人と知り合えるようになった今、男女共に、投稿内容の過信は危険だということを再認識させましょう。

そんなつもりじゃなかったのに……

## ⑥ コミュニティサイトなどを使った未成年によるアプローチ

異性交際を目的に書き込んで



どうしてもあの服が欲しい!



※ LJKは「ラスト女子高生(高校3年生)」を指す俗語

さんは、どうしても買いたいものがあり、お小遣いを得ようと「援助交際相手募集」メッセージをSNSのサイトに隠語を使って書き込みました。

警察官に補導されてしまった



サイバーパトロールをしていた警察が、書き込みを発見。待ち合わせ場所に来た警察官に補導され、注意を受けて保護者に引き渡されました。

考えてみよう!

あらゆる情報がネットから得られるため、「欲しいモノ」や「やりたいコト」がいっぱい! お小遣いが不足、違法行為まがいのことをしてしまうケースも生じています。

### A. お小遣いの範囲で購入

〇〇さんがドラマで着ていた服、買えなかったライブのチケット、ゲーム攻略に必要なアイテムなど、情報過多で欲しいものは増えるばかり。優先順位をつけるクセをつけたいものです。

### B. 衝動を抑えるには?

情報が入った瞬間に「欲しい」と思うのは、誰にでもあること。もっと情報を!と調べてしまうと、衝動は激しくなる一方です。深追いせず翌日考えるなど、一呼吸置くことが有効です。

### C. 保護者に相談してみよう

服が急に増える、コソコソ外出する、などがあれば、保護者も気づきます。こんな書き込みをせず、素直に交渉すること。保護者は頭ごなしに怒らず、お手伝いなどで工夫しましょう。

解説

## 危険な書き込みは、出会い系から非出会い系へとシフト

18歳未満の援助交際(金品目的の異性交際)は、児童買春・児童ポルノ禁止法で禁じられており、サイバー補導の対象です。「家出中、今晚泊まらせてくれる人募集」といった書き込みも、対象となりえます。出会い系サイトは18歳未満の利用が認められていない(出会い系サイト規制法)ため、最近はSNSなどのコミュニティサイトを使うケースが急増していますが、どんな手段であっても「ダメなものはダメ」。犯罪に巻き込まれる可能性があり自分の身が危うくなることを意識させ、良識ある行動を促しましょう。

※P5『データで考える! インターネットトラブルの現状と傾向』もご参照ください。

ワンポイント  
アドバイス

欲しいものの情報が、より欲しくなるように発信されている情報サイト。自分をコントロールする力を育てることが、危険回避には欠かせません。

そんなつもりじゃなかったのに……

## 7 友人間で回すメッセージによる待ち伏せ被害

友人の間だけで回した内容だったのに



無料通話アプリで、学校の友人からバトンが回ってきました。質問内容を読み、Jさんは、軽い気持ちで名前や年齢、学校名などを答えました。

ネットで知り合った人に待ち伏せされた



ネットで知り合った男性に待ち伏せされたJさん。以前その人に無料通話アプリのアカウントを教えたために、Jさんの情報が見られていたのです。

考えてみよう！

「仲間内のやりとりを、知らない人に見られていた」「プライベートな情報を、自分が知らない“友だちの知人”が見ていた」としたら、どんなことが起きるでしょう？

### A. 公開範囲は設定した？

無料通話アプリは仲良ししか読めないから大丈夫だと思い、細かな設定をせず使っている子がいっぱい。友だち追加はもちろん、タイムラインの公開・非公開の設定も必須です。

### B. 誰かとつながる怖さ

⑤⑥にもあるように、知らない人とつながることによる危険はいろいろあります。知らない人を登録している仲間がいれば、「この子の友だちなら安心」と思われて、危険は広がります。

### C. 読める人を考慮して投稿

基本的に、プライベート情報はネットに載せない。どうしてもバトンをしたいなら、部外者には見えないところで！が鉄則。ネットでの友人が欲しいなら、個人情報には載せないで。

解説

## バトンの内容、読めるのは本当に親しい友人だけ？

無料通話アプリのタイムラインなど、日常のつぶやきを投稿できるサービスを利用した「バトン」というものがはやっています。バトンとは、定型の質問に答えながら次の人へと回していく遊びのようなもの。一般的なチェーンメールとは違ってもともと悪意はないのですが、公開範囲設定をしていなければ、友だち登録しているすべての人が読めるため、トラブルに発展することも少なくありません。個人情報は答えない・回さないように心掛けるとともに、ネットで一言二言話して友だち登録した相手は、タイムラインの非公開設定をしましょう。

※P5『データで考える！インターネットトラブルの現状と傾向』もご参照ください。

ワンポイント  
アドバイス

コミュニケーション系アプリの多くは、読んでもいい人の設定ができます。設定の状態を確認させると共に、個人情報の扱いへの注意喚起を。

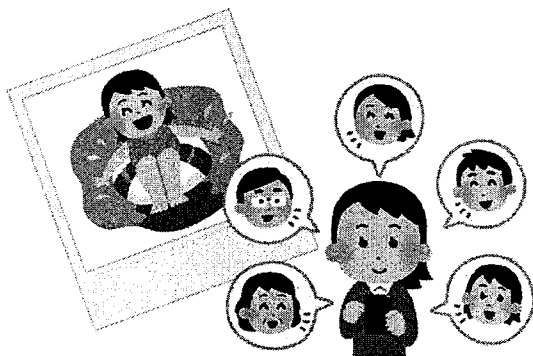


そんなつもりじゃなかったのに……

## 8 SNSなどへの投稿内容から個人が特定

友人とシェアするつもりで写真を投稿し

付きまといを受けるようになった



友人と海に行ったKさん。友人にスマホで撮ってもらった写真が気に入り、**親しい人たちとシェア**しようと思って、SNSに写真を投稿しました。



後ろに誰かいるような気配、写真をアップしてからよね…

数日後から、Kさんは下校時に後をつけられている気配を感じるようになりました。**投稿した写真で個人が特定されてしまったことが引き金**でした。

考えてみよう！

SNSや写真投稿サイトなど、写真や動画を公開できるサービスはいっぱいありますが、自分の身を危険にさらさないために、どんなことに気をつけたらいいでしょう？

### A. 指紋さえわかる高画質

カメラの性能が高まり、ピースサインから指紋が判別されることもあるとか。指紋がわかるくらいなら、背景に写る看板や文字なども簡単に読めるはず。今まで以上の注意喚起を！

### B. ターゲットにされたら大変

ネットが情報収集に役立つのは、悪い人にとっても一緒。過去の投稿や友人の投稿を組み合わせて考えれば、個人情報を書かなくても特定されてしまう可能性があるのです。

### C. もしも不安を感じたら

自分のサイトに気になる投稿があった、知らない人に突然名前呼び止められた、その他、不安を感じたら、まずは大人に相談すること。できるだけ、誰かと一緒に行動しましょう。

解説

## 写真の中の建物や地域の行事でも生活範囲は憶測できる

未成年者は、SNSなどを利用する際の個人情報の取り扱いに**コルーズな傾向**があります。基本的に誰でも見ることができるのがSNS、限られた友人間のやり取りだとしても、**会話の中に名前や住んでいる場所、学校名などがあれば、写真を載せただけで個人が特定されてしまい、非常に危険**です。写真に写り込んでいるもの以外にも、訪れた店や地域の行事などの話題でも、生活範囲が憶測できるので注意が必要です。また、友人が写っているものを投稿すれば、(たとえ掲載を許可してもらっていても)その友人を同じ危険にさらすことになりかねません。

※P5『データで考える！インターネットトラブルの現状と傾向』もご参照ください。

ワンポイント  
アドバイス

アップする前に、写真も動画も自分以外に写っているものを確認！ハッシュタグ( # )をつけず、不特定多数の閲覧を減らすのも一案です。

予想外のトラブルが起きて……

## 9 旅行中の写真投稿や書き込みによる空き巣被害

旅行先から写真をアップしたら



夏休みに、家族旅行に行ったLさん。仲良しの友人への暑中見舞い代わりにしたいと思い、**旅先から写真やメッセージをSNSに投稿**しました。

自宅が空き巣に荒らされていた



帰ったら、家の中がグチャグチャ！留守にしている間に**空き巣に入られてしまった**ようです。SNSでしばらく**不在だとわかったため狙われた**とのことでした。

考えてみよう！

日常の出来事や楽しい思い出を、仲良しと共有したいと思う人も多くなりました。でも、投稿したものが予想外のトラブルを生む可能性を、想像したことはありますか？

A. 仲良しに知らせたいなら

非公開のグループトークや、SNSの非公開アカウントを賢く活用すれば、許可のない人には読めないのが安心です。また、勝手に転載しないようにみんなで約束するのもGOOD。

B. どうしても公開したいなら

「いいね」が欲しくて公開する子に、とがめるだけでは効果なし。③の危険も考慮し、どう工夫すればいいか検討しましょう。スタンプやボカシをうまく使う、公開のタイミングを工夫、も○。

C. 悪い人が読む可能性

留守だとわかれば空き巣に、ブランド小物を毎日持ち歩くとわかればひったくり、etc...何が伝わると誰に狙われるか、あれこれと想像してみるのもトラブル予防につながります。

解説

誰でも読める投稿内容は、犯罪に利用されることも

夏休み、お正月、ゴールデンウィーク……家族旅行にでかけることも多い長期休暇や連休ですが、**リアルタイムでSNSに投稿すれば、「今、自宅には誰もいません！」と留守を公言しているようなもの**です。無料通話アプリのタイムラインへの書き込みも、友だち限定にしていなければ誰でも読むことができます。実際、ネットへの投稿がきっかけで空き巣に入られるケースは増えています。また、「一人で留守番」が憶測できる書き込みも危険。**日々のささいな投稿が取り返しのない事態を招かないよう、送信する前に読み返す習慣を身に付けることが大切です。**

ワンポイント  
アドバイス

自分の投稿が、悪い事をしようとする人の目に留まることだってある。これを意識できるようになれば、安全確認をする子も増えるはずです。

## 10 自らIDとパスワードを教えたことによる被害

他人にIDとパスワードを教えてしまい



M君は、ゲームを有利に進めるアイテムが欲しいのですが、ポイント不足で買えません。そのとき、「ポイントあげようか」というメッセージが届きました。

パスワード変更されゲームを乗っ取られた



ポイントもらえるならIDとパスワードを教えたら、パスワードが変更されたらしくログインできません。M君は、ゲームを乗っ取られてしまったのです。

### 考えてみよう!

パスワードが悪用されるトラブルは頻繁に起きていますが、自分で教えたケースばかりではありません。何故わかるのか、知られたら何が起きるのか、想像してみましょう。

#### A. ペットの名前もアウト

自分の名前や誕生日のほか、好きなアイドルの愛称・誕生日、ペットの名前など、普段SNSで話題にしているようなものは避けましょう。自分の発信する内容を考えて決めるのが鍵。

#### B. 甘い誘いはワナと考えて

IDやパスワードも大切な個人情報。それを聞き出そうとする人は、信用しないほうが無難。パスワード変更されてしまうと、乗っ取り阻止も取り返すことも不可能になります。

#### C. たとえゲーム仲間でも

ゲームと一緒に戦って親切にしてもらったから、アイテムを本当にもらえると思って……と泣いても後の祭り。どんなに仲良しでも、IDやパスワードは教えない！を徹底させましょう。

### 解説

## IDとパスワードさえ分かれば、誰でもアクセスできるようになる

ゲームのポイントやアイテムを奪われたり、ネット上に保存している写真を盗み見られたり、アカウントを乗っ取られるなど、ゲームやSNSなどのIDやパスワードを他人に利用されて被害にあう人が増えています。どんなに親しい相手でも、自分のIDやパスワードを教えるのはダメなのです。他人のIDとパスワードでログインすることは、不正アクセス禁止法違反にあたるのですが、ネット上のサービスでは現物が存在するわけではないため、盗む、無断で立ち入ることへの罪悪感が鈍る傾向があります。被害・加害、ともに注意が必要です。

### ワンポイント アドバイス

乗っ取ったIDでその人になりすまし、知り合いをだますようなトラブルも増えています。自分のうっかりが、周囲に迷惑をかけることも忘れずに。